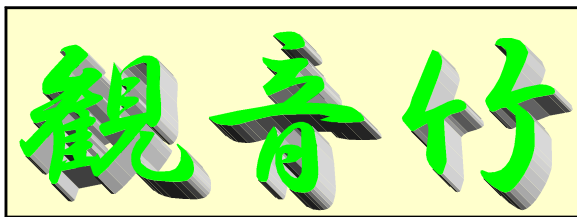


【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】



--- 12月の目標 ---

生活：物を大切にし、学校をきれいにしよう

保健：体と健康について学ぼう

安全：決まりを守ってお互い協力しよう

令和4年 12月号

R4. 12. 5発行

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

## 自分を想う 他者を想う

【学校教育目標】自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる

12月4日（日）から12月10日（土）までの1週間は、ある取組の週間になっています。ご存じでしょうか。「第74回人権週間」です。これは、世界人権宣言からきています。この宣言は、1948年12月10日の第3回国際連合総会で採択された、すべての人民とすべての国が達成すべき基本的人権についての宣言です。



この週間の取組として、11月29日（火）、ALT（英語指導助手）及び町ESDアドバイザーでもあるアンドリュエー先生に人権教室で話をさせていただきました。1～6年の子どもたちに、わかりやすく具体的な話で、子どもたちが人権について考えるきっかけになったと思います。また、翌日の30日の全校朝会で、校長の話の中でも人権について話をしました。学校教育目標にある「自他を大切にし…」

の冒頭の言葉を子どもたちと一緒に考えました。まず、子どもたちは、「**自他**と**大切**」という言葉を見せ、「何のことだろう？」と尋ねると、学校教育目標のことだと気づく子がとても多かったです。次に、「**自**と**他**はだれのこと？」「**大切**に…ってどうすること？」というように、子どもたちに問いかけ周りの子と語り発表してもらいました。さらに、子どもたちが発表したことを具体的に実践できるようにするには、どうすればいいか尋ねました。すると、「聴く」と子どもたちがつぶやきました。

これは、10月の全校朝会で、よく考えて行動するために「聞く」ではなく「聴く」ということが必要だと話していたのです。「聴く」という漢字には、「心」という文字が入っていると子どもたちも気づきました。心を込めて聴くことが大切なんだねと子どもたちと一緒に考える時間となりました。

他を大切にすること、相手のこと・周りの人たちのことをよく聴くことであり、それが相手のことをよく考える「想う」になるのだと、子どもたちの心の中でつながってくれたらいいなと考えています。児童会でも「差別をしないで、相手のことを考えてふわふわ言葉を使おう！」と取り組んでいます。

自分を知り（想い）、相手を想い、聴き合う子どもたちに育っていくように、これからも八幡小学校の教育活動を進めていきます。